

地域農業の
Eひと

特産品「彦根梨」を多くの方に、
おいしく食べてほしい
彦根梨生産組合の一員として
汗を流す毎日です!!



「彦根梨」は7月末～10月上旬にかけて流通を予定しています。販売場所などについてはJ A 東びわこホームページでお知らせいたします。

妻との結婚を機に、彦根市石寺町で彦根梨を生産する義父を継ぐと令和2年の4月に就農しました。当初は右も左も分からず栽培方法を学ぶことで精一杯でしたが、4年目となった今は、ずいぶん視野を広く持つことができるようになってきました。農業の世界は一人で黙々と作業するイメージが強かったものの、実際は彦根梨生産組合の生産農家をはじめ、県やJ Aの担当者など非常に多くの方と接する機会が多く、様々な面で助けられているなど実感する毎日です。



★摘花作業

生産農家で組織する彦根梨生産組合では、2番目の若さ。旧態依然ではなく、理論的に良い技術や方法は積極的に導入したい考えです。



★摘花作業

夢は、「彦根梨」を全国的に有名な特産品にすること。栽培面積の拡大には限界があるため、より多い収量とより高い品質の梨を生産することに力を注ぎます。

自分の中で大きなターニングポイントとなったのが、昨年度に初めて組合の役員として防除係を担った経験です。彦根梨を栽培する果樹団地全体で効率良く病気や害虫を抑えるために、被害調査やオペレーターの手配、作業機の整備などを行いました。18戸の生産農家それぞれの考え方があつた中で、組合として統一した考え方に持っていくには骨が折れましたが、組合の皆さんに私の顔を売ることができた1年間となりました。



★防虫・防鳥ネットの設置作業

事業継承後、大黒柱として農業経営を行うのは少し不安な様子。「コツコツと真面目にやっていきたい」と話します。

これまで彦根梨の歴史を築いてこられた諸先輩方の苦勞を身に染みて実感したほか、組合全体でより良い梨の生産に向けて取り組む大切さを学ぶことができました。彦根梨を生産する中で最も楽しいのは、当たり前ですが収穫作業です。収穫できるまで年間を通して様々な工程を経て、生産農家それぞれが汗を流しながら1玉でも多くA品(秀品)を出荷できるように真心想って作業をしています。今シーズンの彦根梨をお買い求めいただいた際は、ぜひ我々生産農家の想いを乗せてお召し上がりください。昨年11月には長女が産まれ、父親としても奮闘しています。また令和7年には本格的に事業継承を予定しており、娘が大きくなった時に自慢に思ってもらえる父親となれるよう一生懸命がんばります。

石寺町の梨園で栽培しています!!

ひこねしごさんしょうちょう
彦根市後三条町
かわさきしんや
川寄 真哉さん(32)

主な生産品目

品目名	規模
彦根梨	60a

(令和5年度)



▲毎年大人気の特産品「彦根梨」